

(令和3年2月15日)

< ワンポイントレッスン (理論・基礎知識) >

( 決算短信を読む・その4－継続企業の前提に関する注記 )

決算短信の添付資料の目次には、下記の例にあるように「継続企業の前提」に関する注記の項目があります。上場している企業のほとんどは、「該当事項はありません」となりますが、稀に目に付くことがあります。「継続企業の前提に重要な疑義を抱かせる事象または状況が存在する」など、業績が芳しくなく、企業の財務体質も強固でない企業です。注記には、状況・今後の改善策当が詳細に開示されているので、目を通して置くことをお勧めします。間違っても「知らずに投資をした」などはないように。投資対象を分析する以前の問題です。注記は、「継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められます」と、「重要な不確実性が認められないと判断しています」の二つに分かれます。それをどう評価するか…、問われるところです。

決算短信を読んで、売上高の著しい減少、継続的な営業損失の発生、あるいは営業キャッシュフローのマイナス、債務超過などがあり、経営成績が芳しくない企業は「継続性の前提云々」の注記が記載されていないか、チェックです。注記がある会社は、M&A など含めて構造改革など抜本的な施策に取り組んでいることが多く、上手くいけば大きく変貌ですが…、これはまた別のテーマです。

< 決算短信添付資料の目次…例です >

1. 当四半期の決算に関する定性的情報
  - (1) 経営成績に関する説明
  - (2) 連結業績予想など将来予測情報に関する説明
  - (3) 利益配分に関する基本方針
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記
  - (1) 四半期連結貸借対照表
  - (2) 四半期連結計算書及び四半期連結包括利益計算書
  - (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項
    - (継続企業の前提に関する注記)
    - (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)                      など

(丁)